

2020年度二次分析研究会 課題公募型 研究成果報告会

戦後福祉国家成立期の福祉・教育・生活をめぐる 調査データの二次分析

■日時／場所

2021年3月12日（金） 10:30～17:00 / オンライン開催（zoom）

■プログラム

開会の挨拶 佐藤香（東京大学）

第1部 10:30-12:00 ◇司会 佐藤香（東京大学） ◆コメンテータ 祐成保志（東京大学）

- (1) 『労働調査資料』貧困・社会保障パートの復元二次分析とその可能性〔相澤真一／上智大学・渡邊大輔／成蹊大学〕
- (2) 1960年代における高齢者の生活の実相 〔羅佳／同朋大学〕
- (3) 1960年代前半の貧困問題の布置構造——「ボーダー・ライン層」調査の復元二次分析から〔相澤真一／上智大学〕

第2部 13:00-15:00 ◇司会 石島健太郎（帝京大学） ◆コメンテータ 渡邊勉（関西学院大学）

- (4) 戦前期日本の学歴と社会移動——「神奈川県高齢者調査」からみる社会的地位の達成〔菅沼明正／九州産業大学〕
- (5) 戦後低所得世帯の子どもの高校進学を規定する社会経済的要因 〔太田昌志／早稲田大学〕
- (6) 福祉資金と住宅のあわい——住宅問題の改善とその帰結 〔佐藤和宏／東京大学〕
- (7) 貸付はだれを救ったのか？——高度経済成長期における福祉資金の効果 〔渡邊大輔／成蹊大学〕

第3部 15:30-17:00 ◇司会 白川優治（千葉大学） ◆コメンテータ 永吉希久子（東京大学）

- (8) 生活保護法審議過程の計量テキスト分析 〔小山裕／東洋大学・坂井晃介／東京大学〕
- (9) 福祉資金の利用にともなう恥の規定要因 〔石島健太郎／帝京大学〕
- (10) 街のなかの子育てと夫婦——団地居住者生活実態調査（1965）の二次分析 〔前田一步／東京大学〕

閉会の挨拶 石島健太郎（帝京大学）

■参加申込は、東京大学社会科学研究所 附属社会調査・データアーカイブ
研究センターのWEBサイトをご確認ください。

